愛知大学

履修モデル（文学部　人文社会学科）

【履修モデルとは…】
学部学科では、ディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーに基づき、「養成する人材像」を定めています。
学部学科には様々な科目が用意されていますが、「養成する人材像」を目指す上で、いつ（学年）、どのような科目を、どのような順に学んでいくか、
履修したらいいかを明示しているものが「履修モデル」です。
学生の皆さんはこれを参考に、自らの目標・目的に従って授業を選択し、履修してください。

学部・学科名	文学部・人文社会学科	対象入学年度	2018年度以降入学生
ディプロマ・ポリシー	文学部人文社会学科では、カリキュラム・ポリシーに従い履修規程に定められた科目区分毎の卒業必要単位数および専攻別の履修要件をすべて満たし、厳格な成績評価を経ることにより、総計124単位以上を修得した学生に対して卒業判定を行い、学位を授与します。「卒業論文」は必修で、自分でテーマを決め、資料・実地調査を行い、これに基づいた解釈、先行文献との比較を通して、自分なりの結論を導き出します。なお、メディア芸術専攻では「卒業論文」に換えて「卒業制作」を提出することも認めます。「卒業論文」、「卒業制作」のどちらについても、論文審査（「卒業制作」においては付帯論文審査）と口述試験を行うことで、テーマ発掘力、調査力、資料の解釈・分析力、ものごとを自分なりに考え、新たなものを創造し、表現する力、また自分で導き出したものや創造したものを人前で発表する力、質問や批判に答え、他者と対話する力が養われたかを確認します。		
カリキュラム・ポリシー	文学部人文社会学科では、広く人文・社会諸学の成果に基づき、理論的かつ批判的にものごとを分析・思考する能力を有し、それぞれの職域において指導的な立場に立って、企画構想、問題解決の実践を行い、国際的教養と視野をもって「世界文化と平和」へ貢献しうる人材の育成をめざしています。その実現のために、以下の方針に沿ってカリキュラムを作成しています。 (1)コミュニケーション能力、情報処理能力、基本的な思考方法や総合的な判断能力を養成するため「外国語」「数理・情報」「自然」「社会」「人文」「総合」「体育」の分野による共通教育科目を設けます。外国語は2年次から所属する専攻によっては言語が指定されます。そのため1年次には英語とそれ以外の外国語(中国語、フランス語、ドイツ語、ロシア語、韓国・朝鮮語から選択)を履修し、2年次の専攻所属後に、第1外国語(8単位)、および第2外国語(6単位)を決定します。 (2)1年次生の専門教育科目では、学部必修科目のである「文学部総合研究」の中で文学部の各専攻の学問の基礎に触れ、文学部全体の学問を見渡し、自分が進む専攻を判断する機会をもちます。それに加えて各コースの導入科目として「入門講義」(3科目選択可)と「入門演習」(2科目選択可)を学部選択必修科目として設け、関心のある専攻の学問領域に触れる機会が提供されています。 (3)学生は、上記(1)、(2)の導入科目を踏まえ、2年次から5コース12専攻(東アジア文化、哲学、図書館情報学、メディア芸術、社会学、日本史学、世界史学、地理学、日本語日本文学、現代国際英語、ドイツ語圏文化、フランス語圏文化)＊および心理学科のいずれかに所属します。専攻に所属してからは、主要な専門教育科目として、演習などのコース必修科目、専攻必修科目およびコース共通選択科目の区分があり、卒業必要単位数の区分ごとの配分は専攻ごとに異なります。 ＊ 2015年度入学生は、6コース14専攻(東アジア文化、哲学、図書館情報学、メディア芸術、現代社会学、行動社会学、心理学、日本史学、世界史学、地理学、日本語日本文学、現代国際英語、ドイツ語圏文化、フランス語圏文化)となります。 ＊ 2016年度および2017年度入学生は、6コース13専攻(東アジア文化、哲学、図書館情報学、メディア芸術、社会学、心理学、日本史学、世界史学、地理学、日本語日本文学、現代国際英語、ドイツ語圏文化、フランス語圏文化)となります。		

履修モデル	コース	欧米言語文化コース ドイツ語圏文化専攻
養成する人材像	ドイツ語の習得を基礎に欧米言語文化(必修:言語学概論、欧米言語芸術概論)の視野のなかでドイツ語圏の文学、歴史と文化を研究し、翻って自国文化にも深い理解を涵養することが本専攻の目標です。多様な世界に対応する多様な人材が必要とされる現在、日本語と英語によるのではなく直接、当該言語を通して異文化を知る人材が欠かせません。本専攻はその一端を担うべく、ドイツ語圏文化への深い理解をもち、自立した社会人を公務員、教員としてまた一般企業へ送りだすことを目指します。	

		1年次				2年次				3年次				4年次				合計単位
		第1ｾﾒｽﾀｰ	単位	第2ｾﾒｽﾀｰ	単位	第3ｾﾒｽﾀｰ	単位	第4ｾﾒｽﾀｰ	単位	第5ｾﾒｽﾀｰ	単位	第6ｾﾒｽﾀｰ	単位	第7ｾﾒｽﾀｰ	単位	第8ｾﾒｽﾀｰ	単位	
共通教育科目	外国語分野	Communicative English Ⅰ	1	Communicative English Ⅱ	1	Practical English Ⅰ	1	Practical English Ⅱ	1									6
		Reading Ⅰ	1	TOEIC	1													
		入門ドイツ語Ⅰ	1	入門ドイツ語Ⅱ	1	応用ドイツ語Ⅰ	1	応用ドイツ語Ⅱ	1									8
		基礎ドイツ語Ⅰ	1	基礎ドイツ語Ⅱ	1	総合ドイツ語Ⅰ	1	総合ドイツ語Ⅱ	1									
	数理・情報分野 自然分野 社会分野 人文分野 総合	情報の科学,地球環境問題, 言語と文化,マルチメディア表現,地球の科学,歴史学,哲学,憲法,動物行動学,社会学,文化人類学,生命の科学,情報と社会,文学																28
	体育分野	ｽﾎﾟｰﾂ・健康演習	2															2
専門教育科目	学部必修	文学部総合研究	2													卒業論文	4	10
																卒業論文	4	
	学部選択必修	入門講義(欧米言語文化)	2	入門演習(欧米言語文化)	2													4
	コース必修					欧米言語芸術概論	2	言語学概論	2	欧米言語文化演習Ⅰ	2	欧米言語文化演習Ⅱ	2	欧米言語文化演習Ⅲ	2	欧米言語文化演習Ⅳ	2	14
								欧米文学史概論	2									
	ドイツ語圏文化専攻必修					ドイツ語基礎演習Ⅰ	2	ドイツ語基礎演習Ⅱ	2	ドイツ語圏文化講読Ⅲ	2	ドイツ語圏文化講読Ⅳ	2					20
						ドイツ語圏文化講読Ⅰ	2	ドイツ語圏文化講読Ⅱ	2	ドイツ語学概論	2	ドイツ語圏文化概論	2					
						ドイツ文学鑑賞Ⅰ	2	ドイツ文学鑑賞Ⅱ	2									
	学部選択必修・コース必修・コース選択（ドイツ語圏文化専攻必修科目を除く）・他コース科目・心理学科科目	英米事情	2	ドイツ事情	2	ドイツ語圏近・現代史	2	ドイツ文学史	2	ﾖｰﾛｯﾊﾟ文明史Ⅰ	2	ﾖｰﾛｯﾊﾟ文明史Ⅱ	2					14
						外国語としてのドイツ語	2											
自由選択	共通教育科目・専門教育科目	ドイツ語会話(初級)Ⅰ、ドイツ語会話(初級)Ⅱ、ドイツ語会話(中級)Ⅰ、ドイツ語会話(中級)Ⅱ 芸術論、民俗学 入門講義(現代文化)																18
合　計			－		－		－		－		－		－		－		－	124

卒業要件(卒業必要単位:124単位)
1　共通教育科目は、次の定めるところにより、合計44単位以上を修得しなければならない。
(1)外国語分野　必修外国語として第1外国語8単位、第2外国語6単位、計2ヵ国語14単位
(2)数理・情報2単位、自然・社会・人文分野各4単位を含め、数理・情報、自然、社会、人文分野及び総合全体の中から28単位
(3)体育分野　2単位
2　専門教育科目は、次の定めるところにより、合計62単位以上を修得しなければならない。
(1)学部必修科目10単位
(2)学部選択必修科目4単位
(3)コース必修科目14単位
(4)コース選択科目のうちドイツ語圏文化専攻必修科目20単位
(5)コース選択科目のうち、コース内他専攻必修科目・コース共通選択科目から10単位
(6)学部選択必修科目・コース必修科目・コース選択科目・他コース科目・心理学科科目から4単位
3　上記のほかに、共通教育科目及び専門教育科目の中から18単位以上を修得しなければならない。